



# Internet-by-Design for Information Society by Design

創造情報学専攻 教授

WIDEプロジェクト代表

東大グリーンICTプロジェクト代表

江崎 浩(Hiroshi Esaki)

# Internet by Design

1. グローバル

→ 「国」はステークホルダの一つ

2. 地球上で唯一

→ 「つながること」を前提(encourage)

3. 選択肢の提供

→ 敢えて「最適化」しない

4. 動くものを尊重

→ 「原理主義」ではなく「実践主義」

5. ベスト・エフォート

→ スポイル(安心)せず、上限なし

6. 透明性と「エンド・ツー・エンドの原理」

→ 知識・知恵の「共有」と自力解決

7. ソーシャル性

→ One for All, All for One

8. 自立・自律システム

→ 多様性の尊重(生き残る種)

# 『ポスト・コロナ社会に向けて』の再確認

1. 『右手に研究、左手に運用』 (by WIDE Project)
2. 『道徳を忘れた経済は罪悪、経済を忘れた道徳は寝言だ』  
(二宮尊徳)
3. 『必要は発明の母ではなく、発明は必要の母』  
(Melvin Kranzbergの第2法則)
4. We reject king, president a voting. We believe in rough consensus and running code. (by Dr.David Clarke, MIT, at INET92 in Kobe, Japan)
5. 『まず自助、次に共助、最後に公助』

# クラントツバーグの技術の法則

1. 技術は善でも悪でもなく、また、中立でもない。  
(Technology is neither good nor bad: nor is it neutral.)
2. 発明は必要の母。(Invention is the mother of necessity.)
3. 技術は、大きいものや小さいものが、ひとかたまりになって現れる。  
(Technology comes in packages, big and small.)
4. 技術は多くの公的課題の主要な要素でありえるが、技術政策の決定には非技術的要因が優越する。  
(Although technology might be a prime element in many public issues, nontechnical factors take precedence in technology-policy decisions.)
5. すべての歴史は重要であるが、技術史は何よりも重要である。  
(All history is relevant, but the history of technology is the most relevant.)
6. 技術は極めて人間的な活動であり、技術史もそうである。  
(Technology is a very human activity – and so is the history of technology.)